

(4) 夫婦の就労状況

結果のポイント

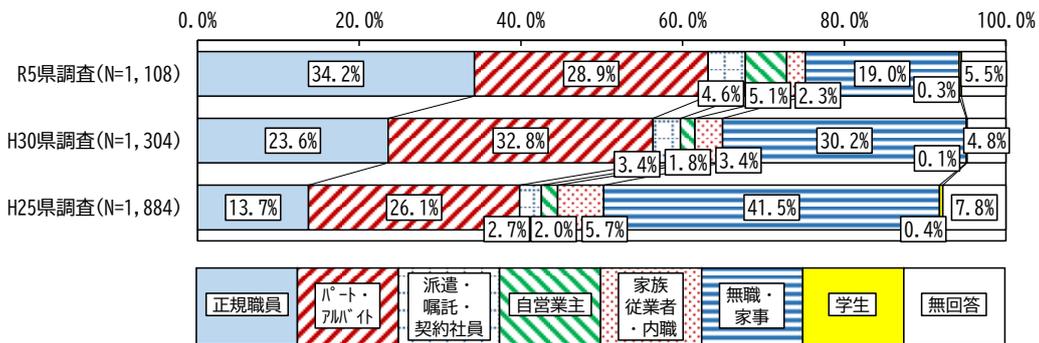
- 学校卒業後から現在にかけて妻の就労している割合は約9割から約7割まで低下、正規職員の割合は約7割から約3割まで低下している。
- ただし、前回調査と比較すると妻の現在就労している割合や正規職員の割合は前回調査より上昇しており、第一子出産を機に退職した割合も 5.6 ポイント低下するなど変化がうかがえる。
- 妻の労働時間は前回調査から増加傾向ではあるものの、依然として家計の役割は夫中心である。
- 末子の小学校入学を機に妻の帰宅時間は 17 時以前と早くなる割合が高い。
- 妻の通勤時間は「30～45 分」の割合が 25.7%と最も高く、夫に比べて近隣の職場が選択されている。

① 時期別の就労状況

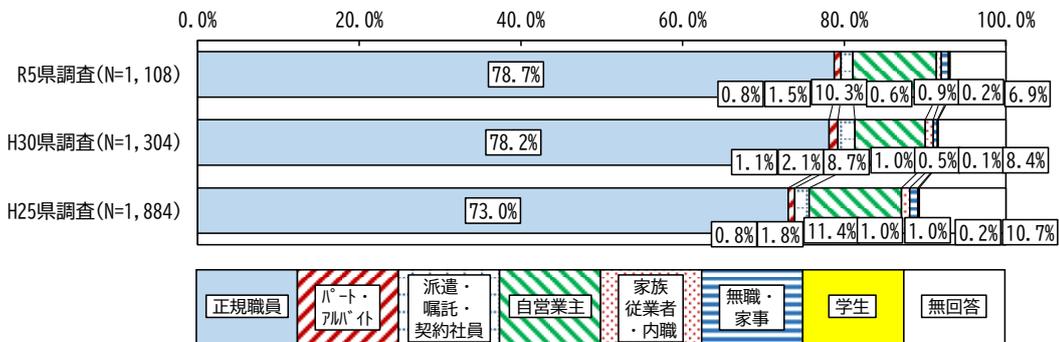
時期別の就労状況をみると、妻の場合、「正規職員」は最後に学校を卒業した直後が71.7%で最も高く、現在に近づくにつれて割合が低くなっている。結婚直後で「無職・家事」、現在で「パート・アルバイト」の割合が大きく上昇している。

夫の場合、「正規職員」は、最後に学校を卒業した直後では75.5%だが、その後はいずれも8割程となっている。

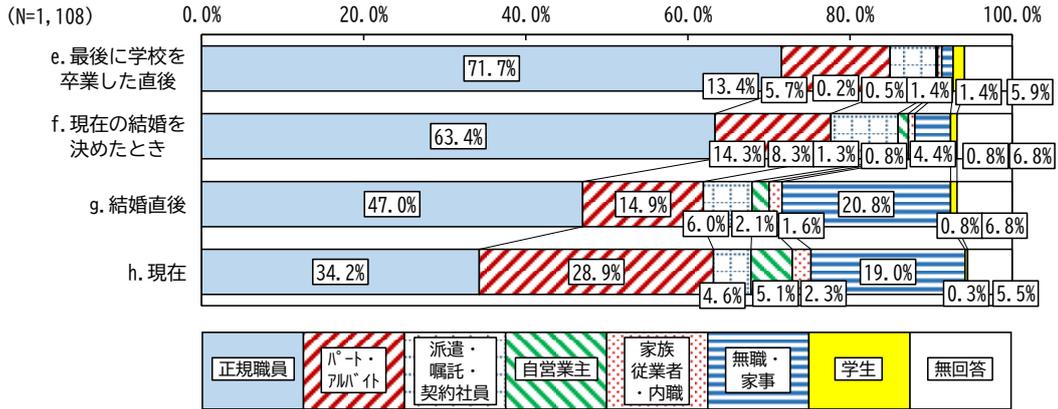
図表 現在の就労状況（妻）



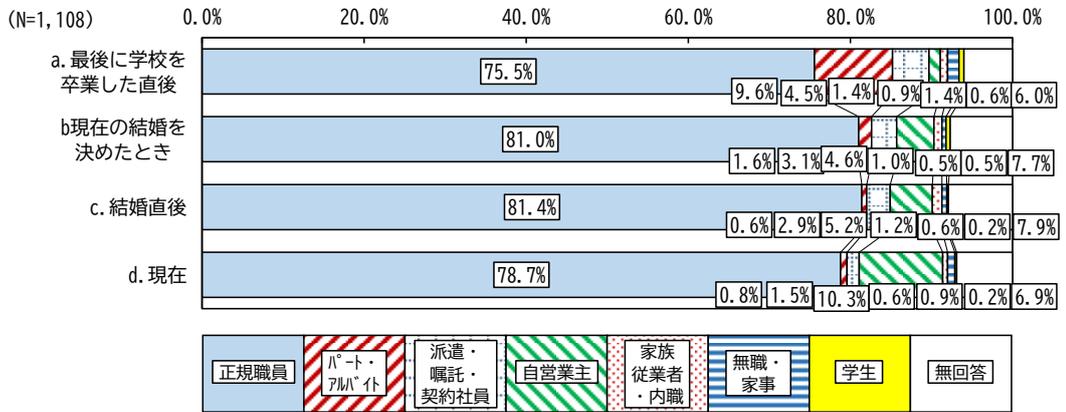
図表 現在の就労状況（夫）



図表 時期別・就労状況（妻）



図表 時期別・就労状況（夫）

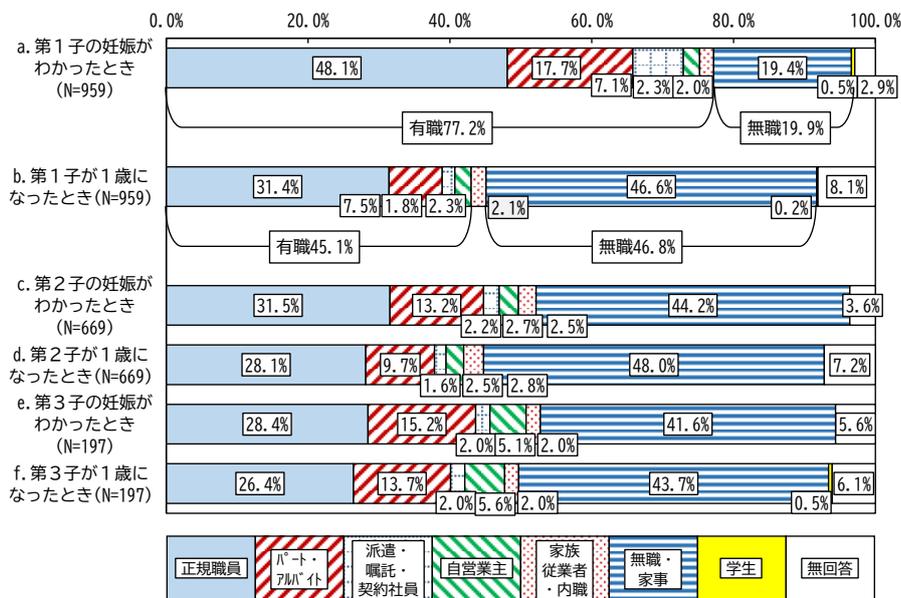


② 妻の妊娠・出産後の就労状況

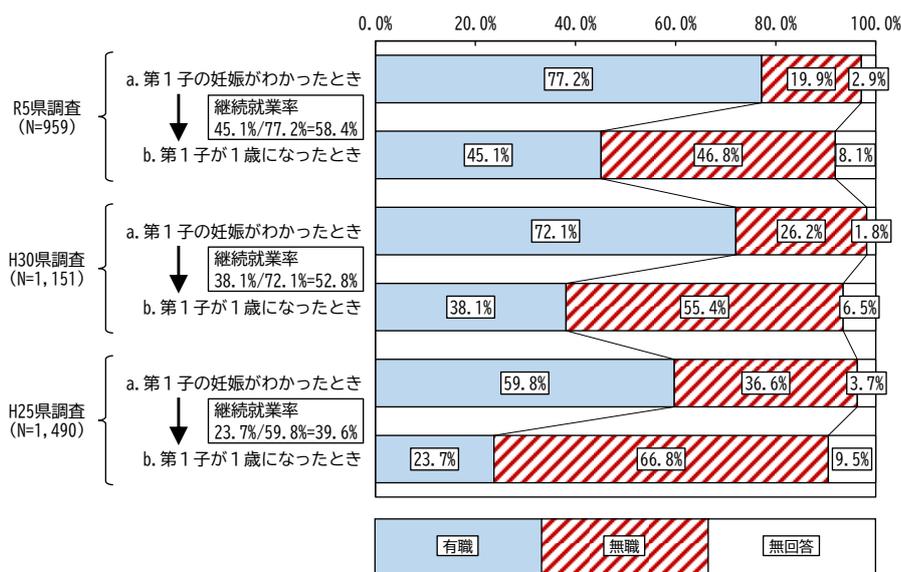
妻の妊娠・出産後の就労状況を見ると、第1子妊娠時に就労している妻の割合は77.2%で、そのうち「正規職員」の割合が48.1%、「パート・アルバイト」等の非正規職員の割合が24.8%となっている。第1子が1歳になった時には、就労している妻の割合は45.1%まで低下し、「無職・家事」が19.4%から46.6%に上昇している。

第1子出産前後の継続就業率を前回調査と比べると、52.8%から58.4%に上昇している。

図表 妻の妊娠・出産後の就労状況



図表 第一子出産前後の妻の就労状況

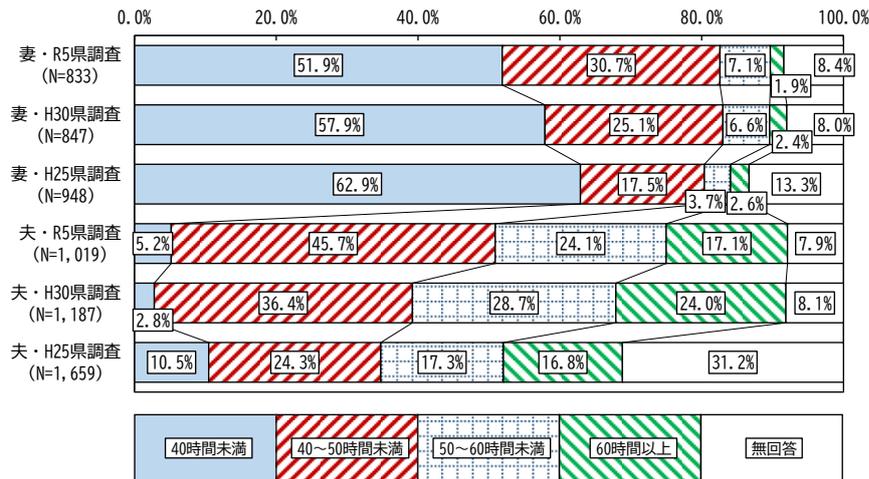


③ 1週間の平均的な労働時間

1週間の平均的な労働時間をみると、妻では「40時間未満」が51.9%で最も多く、次いで、「40～50時間未満」が30.7%となっている。過去の調査と比べると、「40時間未満」の割合は減少し、「40～50時間未満」の割合は増加していることから、労働時間が長くなっているといえる。

夫では、「40～50時間未満」が45.7%で最も多く、次いで、「50～60時間未満」が24.1%、「60時間以上」が17.1%となっている。過去の調査と比べると、「40～50時間未満」の割合は増加し、「50～60時間未満」と「60時間以上」の割合は低下していることから、労働時間は短くなっているといえる。

図表 1週間の平均的な労働時間

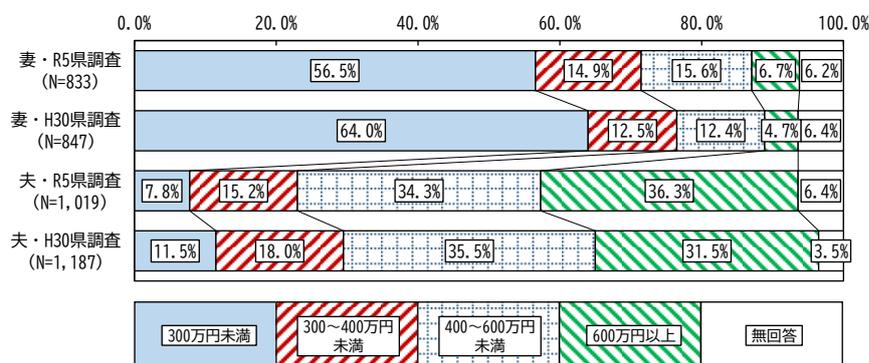


④ 年間の収入

年間の収入をみると、妻では「300万円未満」が56.5%で最も多く、次いで、「400～600万円未満」が15.6%となっている。前回調査と比べると、「300万円未満」の割合が7.5ポイント低下している。

夫では、「600万円以上」が36.3%で最も多く、次いで、「400～600万円未満」が34.3%となっている。前回調査と比べると、「300万円未満」が3.7ポイント低下している。

図表 年間の収入

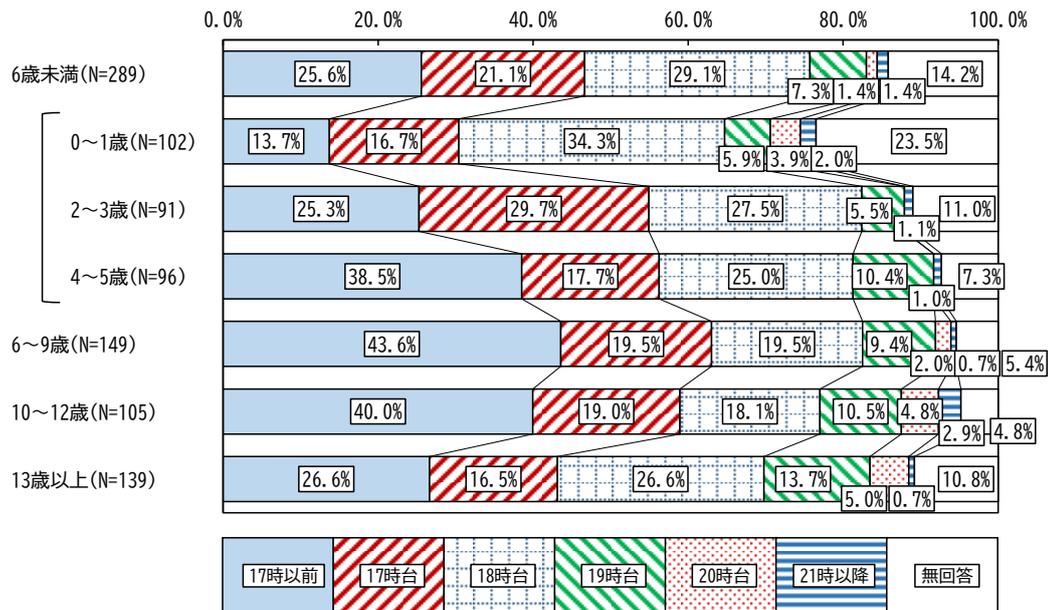


⑤ 末子年齢別の平均的な帰宅時刻

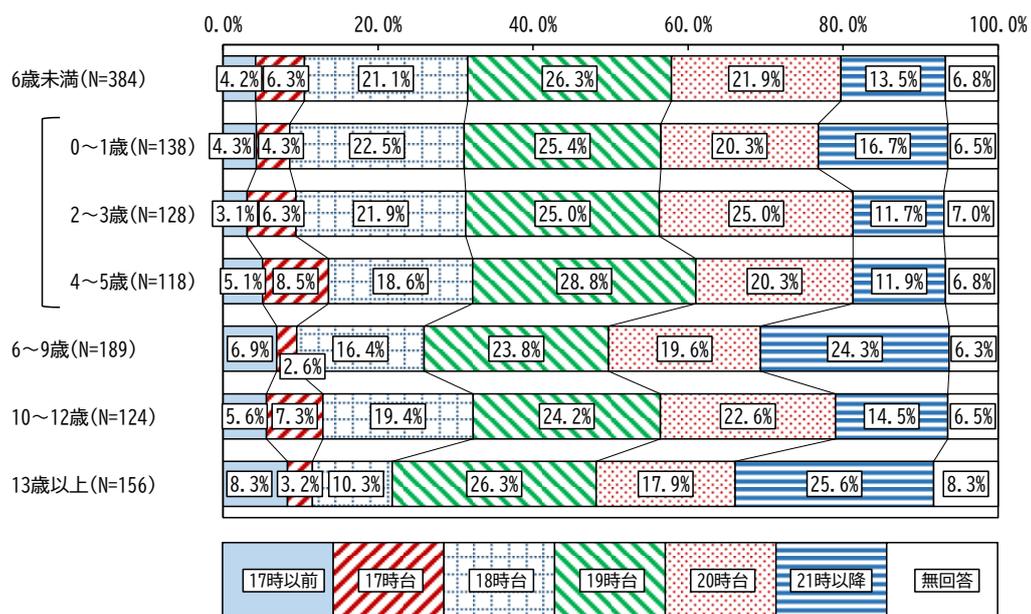
末子年齢別に平均的な帰宅時刻をみると、妻では、最も帰宅時刻が早いのは6～9歳の子どもの持つ母親で、「17時以前」の割合が43.6%と最も高い。0～1歳の子どもの持つ母親では「18時台」、2～3歳の子どもの持つ母親では「17時台」が最も多いが、その他の年齢の子どもの持つ母親では、いずれも「17時以前」が最も多くなっている。13歳以上の子どもの持つ母親では「18時台」も26.6%となっている。

夫では、6～9歳、13歳以上の子どもの持つ父親で、「21時以降」の割合が約2割半と高くなっている。

図表 末子年齢別・平均的な帰宅時刻（妻）



図表 末子年齢別・平均的な帰宅時刻（夫）



⑥ 通勤時間

通勤時間（片道）をみると、妻では、「30～45分未満」が25.7%で最も多く、次いで、「15～30分未満」が23.2%、「15分未満」が20.8%となっている。前回調査と比べると、大きな変化はみられない。

夫では、「30～45分未満」（23.7%）、「60～75分未満」（21.8%）、「75分以上」（20.3%）が2割前後で多くなっている。前回調査と比べると、大きな変化はみられない。

図表 通勤時間

